

*Preparation of 9th World Congress of Inflammation,
Innovative Research of Inflammation, Repair and Regenerative Medicine
President Kouji Matsushima**

第9回国際炎症学会
「炎症・修復・再生医学研究の新機軸, Innovative Research of
Inflammation, Repair and Regenerative Medicine」開催にむけて

開催会長 松島 綱治*

第9回国際炎症学会 9th World Congress of Inflammation (WCI09) は平成21年7月6日(月)～7月10日(金)(5日間)日本炎症・再生医学会のホームグラウンドとも言うべき京王プラザホテルにて開催される予定であります。この会議は、国際炎症学会連合(International Association of Inflammation Societies; IAIS)が2年ごとに開催する会であり、疾患発症ならびに病態の基盤をなす炎症反応の機序解明に関する基礎研究から、それらに基づく新規予防・治療戦略の提供、創薬開発研究に関する国際的な発表の場を提供し、情報交換ならびに国際的人的交流・産学連携を促進することなどを目的とするものであります。

国際炎症学会連合は、世界の主な炎症学関連研究組織の統合、連携を促進することを目的とする国際学術団体であり、日本炎症・再生医学会も加入しており、第9回国際炎症学会をホストとして開催することになっています。

IAIS 開催の国際炎症学会(World Congress of Inflammation; WCI)は1993年に第1回学会がウィーンにて開催されて以来これまで7回開催されています。日本は以前1997年第3回大会を東京で開催した経緯があります。この間、主に欧米の都市を中心に2年ごとに開催されてきましたが、前回はオーストラリアのメルボルンで開催され、次回はデンマークのコペンハーゲンでの開催が予定されています。前回のメルボルンでの学会以前からIAISの方から再度順番ならびに炎症研究の国際的水準、人口そして学会組織規模(日本炎症・再生医学会は2千数百名を有する、この分野では世界で有数の組織)などを考慮して再度日本での国際炎症学会開催の打診がありました。日本炎症・再生医学会理事会として第9回国際炎症学会開催を引き受けることを2005年7月確認しました。そこで、国際炎症学会連合IAISとして正式に2005年8月20日開催IAIS理事会で第9回国際炎症学会(9th World Congress of Inflammation; WCI)を平成21年日本で開催することを決定しました。これに基づき、今年度日本炎症・再生医学会理事会、評議委員会、総会(平成18年7月10～11日)で第9回国際炎症学会の日本開催受託を正式決定しました。これを受けて、日本炎症・再生医学会は、日本開催準備のために、平成18年11月6日第9回国際炎症学会組織委員会を設置しました。

今回の会議では、「炎症・修復・再生医学研究の新機軸, Innovative Research of Inflammation, Repair and Regenerative Medicine」をメインテーマに、炎症基礎研究の到達点(限界と最近のプレー

* Graduate School of Medicine, The University of Tokyo 東京大学大学院医学系研究科

クスルー)、炎症臓器修復・線維化機序への新視点、炎症臓器の再生医学・医療、新規炎症疾患治療標的と創薬・ドラッグデザイン等を主要題目として行われることとなっており、その成果は炎症反応に対する更なる理解とそれに基づく新規予防・治療法、新規薬剤開発標的、薬剤開発戦略などを提供し、さらに従来の治療では不可能であった炎症に伴う線維化などにより機能回復が不可能であった臓器の再生を可能とする再生医療への発展が期待されます。

なお、この国際学会は日本炎症・再生学会年会と共同開催であり、山本一彦先生が国内学会の開催会長であります。現在、山本一彦には国際学会のプログラム委員長を兼任いただき、私ならびに他の委員とともにプログラム、招待講演者の選択を進めているところであります。皆様からの様々なご助言、御支援をよろしくお願い申し上げます。

日程表

	午前	午後	夜
7月6日(月)	参加登録	IAIS 組織委員会 開会式 基調講演 1	ウェルカム・レセプション
7月7日(火)	基調講演 2 モーニングシンポジウム 1	ランチョンセミナー ポスター展示 学会共催シンポジウム 1	ポスター発表
7月8日(水)	基調講演 3 モーニングシンポジウム 2	ランチョンセミナー ポスター展示 学会共催シンポジウム 2	ポスター発表
7月9日(木)	基調講演 4 モーニングシンポジウム 3	ランチョンセミナー ポスター展示 学会共催シンポジウム 3 アワード・レクチャー	バンケット
7月10日(金)	学会共催シンポジウム 4	学会共催シンポジウム 5 市民公開講座	

組織委員会

会長	松島綱治	東京大学大学院医学系研究科 分子予防医学教授
副会長	中畑龍俊	京都大学大学院医学研究科 発達小児科学教授
	宮坂信之	東京医科歯科大学大学院 膠原病・リウマチ内科学教授
名誉会長	水島 裕	聖マリアンナ医科大学 名誉教授
財務担当	西岡久壽樹	聖マリアンナ医科大学難病治療研究センター センター長・教授
	吉川敏一	京都府立医科大学大学院医学研究科 膠原病・リウマチ・アレルギー内科学教授
	坪田一男	慶應義塾大学医学部 眼科学教授
プログラム委員担当	山本一彦	東京大学大学院医学系研究科 アレルギーリウマチ科教授
	宮坂信之	東京医科歯科大学大学院 膠原病・リウマチ内科学教授
	上田 実	名古屋大学大学院医学研究科 頭頸部感覚器外科学教授
抄録・出版担当	岡野栄之	慶應義塾大学医学部 生理学教授
広報担当	川合眞一	東邦大学医療センター大森病院 膠原病科教授
	森田育男	東京医科歯科大学大学院 分子細胞機能学分野教授
Luncheon Seminar/ Industry Sponsored Symposia 担当	中畑龍俊	京都大学大学院医学研究科 発達小児科学教授
	竹内 勲	埼玉医科大学総合医療センター リウマチ・膠原病内科教授
	宮地良樹	京都大学大学院医学研究科 皮膚科学教授
	越智光夫	広島大学大学院医歯薬総合研究科 整形外科科学教授
渉外	宮坂昌之	大阪大学大学院医学系研究科 C8 免疫動態学教授
組織委員	中辻憲夫	京都大学再生医科学研究所 所長
	浅島 誠	東京大学大学院総合文化研究科 生命環境系教授 日本学術会議 副会長(第二部)
	岡野光夫	東京女子医科大学先端生命医科学研究所 所長 日本学術会議 第二部委員
	高橋泰文	炎症研究振興会 代表

第8回国際炎症学会は今年6月17日～20日コペンハーゲンで開催されます。2009年にはできる限りの多くの外国からの参加者を期待いたしておりますので、今度のコペンハーゲンには日本からの多数の参加をお願いいたします。第8回国際炎症学会の詳細は、www.inflammation2007.dk をご参照ください。